

2017年4月10日

報道関係各位

公益財団法人 国際高等研究所

国際高等研究所「けいはんな “エジソンの会”」2017年度第1回会合の開催について

公益財団法人国際高等研究所（木津川市、理事長 立石義雄、所長 長尾真）は、けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するための立地機関によるコミュニティの形成と、この街ならではの基幹技術・基幹産業の確立を目指して、「けいはんな “エジソンの会”」を開催しています。

具体的な「オープンイノベーション」の成功事例を造り込むだけでなく、けいはんな学研都市のコアとなる科学技術ドメインを確立することで、世界をリードするサイエンスシティを目指しています。この度、2017年度第1回会合を下記の通り開催いたします。

【開催概要】

- ◆日 時 4月25日（火）13:30～18:00
- ◆場 所 国際高等研究所レクチャーホール（木津川市木津川台9丁目3番地）
- ◆参加者 けいはんな学研都市の立地機関を中心に50名程度
- ◆プログラム

13:30～14:50 「仮想空間と現実世界を統合するサイバーフィジカルシステム(CPS)のインパクト」
喜連川 優 国立情報学研究所 所長 東京大学生産技術研究所 教授

15:00～16:20 「人間社会との調和のとれた新たなセンシングとアクチュエーション」
萩田 紀博 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 フェロー
知能ロボティクス研究所 所長

16:30～18:00 インタラクティブ・セッション

この機会に是非ご取材いただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

報道関係者の参加申し込みについて

別紙返信用FAX用紙もしくはメールにて、4月24日（月）までにご連絡をお願いします。

（本件に関する問い合わせ先）

公益財団法人国際高等研究所 広報課 森口 有加里
〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地
TEL: 0774-73-4000 FAX 0774-73-4005 携帯:090-4288-4001
E-mail: kouhou@iias.or.jp
ホームページ: <http://www.iias.or.jp/>

○「けいはんな“エジソンの会”」の目指すところ

けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するため、高等研が知的ハブとしての役割を果たすとともに、立地機関の研究者や技術者のコミュニティを形成し、具体的な「オープンイノベーション」の成功事例の確立に寄与することを目指しています。

取組みの核となる科学技術シーズの領域を人工知能～AI とし、2016 年度からの目標としては、AI の最新動向や知識を共有するとともに、AI のもたらす社会への影響を考え、その指針も確立していくこととし、立地機関を中心に、あらゆる人が出入り自由で、興味のあることや得意なこと、足らないことを交換しあうことで、オープンイノベーションの技術面・連携面での基盤を構築していくことを目指しています。さらに、理化学研究所などの国立研究機関、大学、企業を結び、科学技術シーズと社会ニーズのあいだに双方向の流れをつくり、各々の力を活かして産業化を図ります。

○2017 年度の活動の狙い

2016 年 6 月より開始した「エジソンの会」会合は本年 3 月で第 8 回を迎えるました。2016 年度は、AI の最新動向や知識の共有、国研/大学での研究開発成果や先進企業の取り組みについての理解、人文科学面からの考察等、参加機関に対し、知識の幅を広げる為の取り組みを実施してきました。

2017 年度は AI について、具体的な出口を見据えた研究開発を実践するために必要な内容を掘り下げて提案していくことに主眼を置きます。そのため、企業・機関に属する研究、事業開発、製品開発、企画、マーケティング、技術・知財管理など様々な立場にある方々が、各々の部署や組織において、自ら AI を実践し、それらを駆使した製品、サービスを具体的に生み出すことが出来るようになっていただくための年間を通じたテーマを次の観点より設定しています。

〈システム・社会〉

AI は企業や機関にとって核心技術であるにも関わらず、現状では、具体的にどのように活用したら良いのかが分からず、研究・開発、さらには実装の明確なビジョンが描ききれていない状況にあります。

そこで様々な分野において、既に具現化されはじめている先進的な AI の使い道や適用分野を網羅的に学び、統合的な視点から考察することによって、啓発を促し、気付きや閃きやヒントを与え、自らの仕事で AI を使いこなすことが出来るようになることを目指します。

〈テクノロジー〉

指数関数的に進化する AI や IoT に係わるセンシング、アクチュエーション、コミュニケーションのテクノロジーについて、最新動向を深く理解し、時々刻々の進展を把握するとともに、今後テクノロジーがどのような方向に進化していくのかを時間軸を持って捉えることが出来るようになります。

○2017年度第1回会合について

第1回会合は、AI、ビッグデータ、IoTを駆使したシステムの全体像の概念を、サイバー空間と実世界の動きが緊密に結合されることで実現する Cyber Physical System(CPS)を通して理解し、CPSを支えるシステム基盤とこれまでとの違いについて技術的に紹介、解説をしていきます。また、ビッグデータやセンシングデータを取り込み、あらゆる情報を統合的に動かせる CPS が、人間社会との調和を図りながら、サイバー空間と実世界のやり取りをどのようなセンシングとアクチュエーションを駆使して実現していくかを理解いただきます。

*CPS (Cyber Physical System) とは、

実世界（フィジカル空間）にある多様なデータをセンサーネットワーク等で収集し、サイバー空間で大規模データ処理技術等を駆使して分析／知識化を行い、そこで創出した情報／価値によって、産業の活性化や社会問題の解決を図っていくためのサイバーとフィジカルが融合するシステム概念。

○「けいはんな“エジソンの会”」の企画・運営を行う「企画運営委員会」

（順不同、16機関）

- ・ **研究機関**：理化学研究所、産業技術総合研究所、情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所、量子科学技術研究開発機構、国際高等研究所
- ・ **教育機関**：奈良先端科学技術大学院大学、滋賀大学、京都情報大学院大学
- ・ **企業**：西日本電信電話株式会社、サントリーホールディングス株式会社、パナソニック株式会社、株式会社島津製作所、京セラ株式会社、オムロン株式会社、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、日本電産株式会社

○オブザーバー（順不同、9機関）

- ・ 京都府、奈良県、木津川市、精華町、奈良市、国立国会図書館、関西文化学術研究都市推進機構、関西経済連合会、京都産業21